

街路樹

失敗体験の扱い方～「失敗はチャンス」～

生徒を伸ばすには(積極的な生徒指導)

◆失敗が苦手な子どもたちが増えていませんか?◆

先生方と話をしていて感じていることがあります。失敗をしたり負けたりすることを受け入れることがとても苦手な子どもが増えていてのではないかと思います。

失敗を自分の経験の中に取り込んでいくには、成功体験を積み重ねていくことで、肯定的な自己認知を持たせていくことが大切です。そのために、教師は学習を通したり、活動を通したりして、肯定的な自己認知を持てるよう、さまざまなかわりを仕組んでいくのではないのでしょうか。

私はもう一つ大切なことがあると考え、いろいろな機会にお伝えしています。それは、大人が子どものモデルとなるということです。

◆子どもにとって大人の失敗とは◆

「失敗はチャンス」と子どもたちに伝えたいのであれば、私たち教師や大人自らが、「失敗はチャンス」であるという姿を示す必要があるでしょう。

たとえば、板書をしているときに、漢字の書き順を間違ってしまうときもあるでしょう。そんなとき、子どもから間違いを指摘する声が上がったら、どのように対応するのでしょうか。「ではあなたが、正しい書き順で書きなさい。」と、替わりに漢字を書くように、指名をするかもしれません。「あとで調べておきます。」とやり過ぎすかもしれません。「あなただって間違えることはあるでしょう。間違えた人にそんな言い方はしません。」という教師の姿を見たこともあります。それらは、一見適切に見えるかもしれませんが、でも、大切なのはそのときの教師の心持ちです。自分にとって恥をかかせた子どもと考えての対応は、決して子どもたちにとっては良いモデルとはいえないでしょう。

そんなとき、「あ、書き順を忘れてしまった。こんなときは、辞書を引けばいいんだ。」と子どもたちに辞書を引く姿を見せることができます。

教師でも大人でも、間違えること失敗することはあります。恥ずかしさから、できるだけさっとその場をやり過ぎしたくなる気持ちもわかります。しかし、失敗をしたときにどうするのかというモデルを見せることは、子どもが失敗と向き合うためにとっても大切なことであると思うのです。

～「教育ジャーナル」2014. 7月号「ひとりじゃないよ」より～
昭和大学保健医療学部准教授 副島 賢和

教師同士の失敗談のコミュニケーションも大切であることが述べられています。「うまくいくことの話」も大切ですが、「失敗を生かす」ということもより大切にしていきたいものです。

ある学校で、A先生はテストの成績が出るたびに必ずほめていました。B先生は、テストの成績が出るたびに「まだまだできるはずだ。頑張りが足りない!」と叱り続けました。その結果どうなったでしょう?ほめられたA先生の学級の子どもたちのほうがはるかに成績が向上したそうです。ほめられることでやる気が出たのでしょう。

心理学で「オペラント条件付け」という学習理論があります。人は自発的に行った行動に対して報酬が与えられると、その行動の頻度が増し、逆に罰を受けるとその頻度が減るという理論です。

このように、教師が子どもたちをほめることで、望ましい行動を増やす効果があります。また、ほめられているのを見て、周りも同様の行動をしようとする効果もあります。

それでは、効果的なほめ方とはどんなほめ方でしょう。

- ①ほめるタイミング(すぐその場でほめる)
- ②子どもが今までやっていなかった頑張りを見逃さずほめる
- ③具体的にほめる(「えらいね」ではなく「〇〇してえらいね」)
- ④ほめ方に気持ちがこもっている

などがあげられるかと思います。

学校訪問でいろいろな学級を見ていると、担任との関係がよく生き生きとした学級が見られます。その先生を見ると、子どもをよく見て、ほめ方が上手な先生が多いような気がします。

その子の特性に合った指導を

今年の夏休みも猛暑となりました。夏休みが終わり子どもたちが学校に戻り、先生方の愛情溢れるご指導の下、活気に満ちた学校生活が展開されることと推察いたします。

さて、一学期は教育相談受案件数が554件を数えました。相談内容は様々ですが、特に低学年の子どもの相談が多かったです。言うことを聞かず離席したり落ち着いて話を聞けなかったり、すぐ手や足を出したりとトラブルを起こす子どもに対してどう対応したらよいか悩み、心を痛めている担任の先生の声が聞こえてきます。

また、子どもも同じように、自分はどうしてそのような行動をしてしまうのか分からずに注意を受けている場面が想像されます。

そこで、子どもの強い面、弱い面を受け止め、その子の特性に合った指導の手立てを先生方や保護者と共に考え合いながら子どもの困り感に寄り添って行く中から、かわりに道筋が見えてくるものと思えます。

